

**米国 FDA によるリコール情報(2023年7月分)**

2023年7月に FDA により出されたリコールの一覧は、以下の通りです。

日付	製品名	リコール理由
7/25	パン粉をまぶしたモッツアレラチーズスティック	卵と大豆のラベル記載無し
7/21	チーズ製品	リステリア菌汚染の可能性
7/19	ビーガン ブルーベリーマフィン プロテイン オーバーナイト オーツ	ミルクアレルギーのラベル記載無し
7/19	ブラックメロンシード	大豆および小麦アレルギーのラベル記載無し
7/18	スパイシーフムス	ゴマアレルギーのラベル記載無し
7/18	苺フルーツバー(砂糖無添加)	乳アレルギーのラベル記載無し
7/17	カシューバター	ピーナッツおよびアーモンドアレルギーのラベル記載無し
7/12	アジア風チョップドサラダキット	乳および卵アレルギーのラベル記載無し
7/11	Paleo Java ナッツエナジーボール カカオ、コーヒー、パンプキンシード入り	ゴマアレルギーのラベル記載無し
7/7	Jameed スープベースキット	乳のラベル記載無し
7/6	ポテトプリンツ	乳のラベル記載無し
7/5	Tome De Brebis 羊乳チーズ	食中毒の可能性
7/3	Party mix	クルミのラベル記載無し
7/3	グルテンフリーオリジナルワッフル	小麦のラベル記載無し
7/3	朝食サンドウィッチ製品	ピーナッツのラベル記載無し

7月に FDA から発行された 15 件のリコールのうち、ラベルへのアレルギーの記載がなかったことによるものが、13 件と大半を占めました。その他は、リステリア汚染の可能性 1 件、食中毒の可能性 1 件でした。なお、日本企業によって輸入された食品は今回、リコールの対象となったものではありませんでした。

アレルギー物質を使用している場合には、その原材料名を明確に表示しなければなりません。表示が義務付けられているアレルギー物質は乳、卵、魚（例えば、ヒラメ、タラ）、甲殻類（例えば、カニ、ロブスター、エビ）、ナッツ（例えば、アーモンド、クルミ、ピーカン）、ピーナッツ、小麦および大豆に加え、2023年1月1日からゴマについてもアレルギー表示が義務化され、全部で9種類となりました。魚、甲殻類、ナッツについては、その種も明記する必要があります。

適切なアレルギーの表示が無い場合、特定の感受性の高い人に重篤な有害反応が起こる可能性があるため、アレルギー表示漏れはリコールカテゴリーが「クラス1」と最も深刻なカテゴリーに入ります。FDAは、規制の要求に従って、製品ラベルにすべての成分を表示し、製品にアレルギーやその他の記載の無い成分が含まれないよう、指導しています。

出所:[リコール、市場からの撤退、および安全性に関する警告](#) (英語)

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

本レポートに関する問い合わせ先:

日本貿易振興機構(ジェトロ)

ロサンゼルス事務所

TEL: 1-213-624-8855

Email: [lag-USPF@jetro.go.jp](mailto:lag-USPF@jetro.go.jp)